

1 令和6年度第5回定例会

日 時： 令和7年2月13日（木）午後2時30分から午後4時00分
場 所： 中央図書館活動室2・3
出席者： （図書館協議会委員）委員6名
（事務局）図書館長、企画運営担当1主査、総務係長、総務担当

会長 本日の欠席者は、おりません。多摩市図書館協議会規則第4条により令和6年度多摩市図書館協議会第5回定例会を開催する。

事務局から配布資料の確認をする。

事務局 資料は、事前資料としてすでに配布している資料1-1から2、資料2、3、4、5、資料6-1から5となる。当日配布として、子ども読書まつり《ほんともフェスタ》開催のチラシを机上に配布する。

会長 議題1 令和6年度多摩市立図書館事業評価項目について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 令和6年度多摩市立図書館事業評価については、資料1-1から1-2となる。資料1-1 図書館協議会図書館事業評価（外部評価）について（修正案）、令和6年度多摩市立図書館の事業評価をすることで、多摩市立図書館の運営と改善を図るために実施するものである。評価方法については、基本目標（1）～（5）のなかから評価項目を3つ選定する。基本目標（1）にある障がい者サービスについては、これまで「多摩市読書活動振興計画」の取り組み項目としていなかったため評価対象外としていましたが、次期計画である（仮称）「第二次多摩市読書活動振興計画」では取り組み項目とすることから、令和6年度の状況を把握するため、評価対象項目としたい。また、令和5年度に基本目標（2）については、毎年評価対象とすることを決定していることから評価項目とする。残りの1項目を基本目標（1）及び（3）～（5）の取り組みのなかから図書館が作成した「令和6年度多摩市立図書館事業計画実施報告」の内容を基に図書館協議会が選定し、計3項目を自己評価及び外部評価の対象としたい。また、直近2年間に評価対象とした項目は選定しないことを要件にご意見をいただきたい。

評価の実施期間は、令和7年5月から10月とし、評価結果

は市民に公表し、評価の結果に基づいて運営改善に努めていくとともに次年度に反映していく。

裏面にある進め方については、図書館協議会第1回から3回において評価対象である3項目について選定し、図書館側が3項目の自己評価をおこない、報告をする。評価項目以外の項目について意見が出た場合は、総括のなかでまとめることとする。自己評価及び外部評価を図書館側がまとめ、決定をする。評価結果及び今後の方向性を協議会に報告した上で次年度の計画策定に着手できるようにする。

資料1-2 令和6年度多摩市立図書館事業評価における評価項目選定資料については、基本目標ごとに取り組み項目が記載されているもので、資料1-1で説明したものを表にまとめたものになる。網掛けの部分は、すでに評価対象とした項目になるため、評価対象外とし、残りの1項目を選定していただきたい。

会長 事務局から説明のあった議題1について、質問・ご意見等があれば発言をお願いします。

会長 評価項目について、すでに決定している2項目以外に1項目を現委員で一旦選定していただき、次年度の新委員に引き継ぐということになる。

委員 昨年度は、第1回目の協議会において、評価項目を決定したと記憶しているが、やり方が変更されたのか。前年度の時にすでに項目が決まっていたのか。

会長 前年度においては、すでに項目が決定はしていなかった。今回は、現委員において意見を集約しておいて、新委員に引き継ぐほうがスムーズではないかとのことである。改選する新委員のなかで別の意見が出れば変更することもある。

委員 令和7年度に関しては、現委員が選定した評価項目で進めていくと思われるが、令和8年度に関しては、次期計画が策定されるので評価対象も変わっていく可能性があると考えていいのか。その際は、その都度検討することでよいのか。

図書館長 その通りである。評価する期間が長いのでその負担を少なくし、今後の図書館の取り組みについても議論をしていただきたいと考えている。

会長 次期計画が策定されると、評価の項目も変わってくるので、そこから選定していくことになる。

あと1つの評価項目について、ご意見あれば発言をお願いします

る。

基本目標（５）にある１３については、既に見直しをしているので意味がないのではないか。

基本目標（５）にある１７については、評価の可能性があるのであるのか。

図書館長

１３については、すでに見直しをしており、すぐわない。

１７については課題としてはあるので評価対象として考えられる。

委員

中央図書館が開館してから様々なイベントを実施しているので、基本目標（３）にある６か７の項目を評価したらどうかと考える。

会長

イベント開催の内容について、そんなに多くは変わってないが、中央図書館開館においては、様々なイベントを実施してきた。

副会長

イベントとして、令和６年度は市民協働のイベントをかなり活発に実施したことから、市民協働に視点をもっていけばいい評価になるのではないか。

会長

視点を市民協働に着目していけば、評価の意義もあるのではないかとのご意見から、他にご意見がなければ現時点で基本目標（３）にある６が良いのではないかとこのことを引き継ぐので問題はないか。決定事項ではないので、この意見を新委員に引き継ぐこととする。

会長

議題２（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画の内容について、事務局から説明をお願いします。

図書館長

資料２については、次期計画に伴い実施した外国人対象のアンケート結果で国際交流センター利用者において令和６年９月から１０月に実施し、４０人ほどから回答をいただいたものになる。内訳は、記載の通り半数強が中国籍の方であった。

「本を読みたい時にどうするか」の問いに対しては、電子図書館で読むが１８人と半数近くの回答となっている。「日本で図書館に行ったことがあるか」の問いに対しては、８０％の方が行ったことあった。行ったことがない理由としては、自身の国の言葉の本がない・場所が分からないなどがあげられている。図書館に行ったことがある方については、利用者カードをほぼ持っており、ＣＤや本を７割の方が借りていた。

借りた本の内訳としては、子どもの本や日本語を勉強する本が主であった。借りた本のなかで覚えているタイトルは、記載の

通りである。

貸出期間については、6割が適当であると回答している。また、「本は借りないが図書館において本や新聞を読んだりしているか」の問いに対しては、半数近くが読んでいた。「多摩市の電子図書館を利用したことがあるか」の問いに対しては、半数近くが利用したことがなく、認知度の低さが伺えた。「今後、どんな本があるといいか」の問いに対しては、やはり母国語対応の本や日本語試験対策の専門書などを希望していた。図書館への要望としては、貸出期間を長くすること、また外国人が利用しやすいような掲示を充実して欲しい、開館時間を長くして欲しいなどがあった。

資料3については、(仮称)「第二次多摩市読書活動振興計画」策定のスケジュールになる。

令和6年度は、市役所において課長級の策定委員会をこれまでに5回開催しており、3月に6回目を開催する予定としている。

有識者会議については、市民公募により委員を選出し、5月に第1回目を開催した。8月は、台風により中止となったのでメールにより各委員に意見聴取をし、素案を検討してきた。来週の18日に第4回目を予定している。

3月には教育委員会において、素案を決定する予定としている。

素案決定を公表するにあたっては、検討の進み具合によっては、スケジュールを少し遅らせることもあるが、その場合は、有識者会議などに諮っていく予定である。

その他について、4・5月にはアンケートを実施し、結果をまとめ、6・10月と協議会において報告をしてきた。8月には利用者懇談会を中央図書館・東寺方図書館で実施し、計画についてのご意見をいただいた。10月には、障がい者サービスの利用者懇談会を実施、1月には学びあい・育ちあい推進審議会における意見照会、市民意見交換会を全7館にて実施し、意見を伺う場を設けた。また、障害福祉課を通して権利擁護専門部会においても説明をし、ご意見を伺った。

令和7年度は、素案が決定次第パブリックコメントを実施し、反映した原案をとりまとめ、9月には最終的に決定したいと考えている。その後、10月には図書館協議会においても報告させていただく予定としている。

裏面は、1月に実施した市民意見交換会のスケジュールと参

加者人数となっている。

資料4については、現時点における（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画の骨子案概要となる。基本理念は、「市民の『読む』『知る』『学ぶ』を支援し、自ら考え、共に課題を解決できる心豊かな地域を育みます」としており、その下に4つの基本方針があり、その下にそれぞれの施策が連なっている形となっている。

資料4については、現時点における（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画の骨子案概要となる。基本理念は、市民の「読む」「知る」「学ぶ」を支援し、自ら考え、共に課題を解決できる心豊かな地域を育みますとなっており、その下に4つの基本方針があり、その下にそれぞれの施策が連なっている形となっている。

①のだれもが使える図書館については、新たに若者の図書館利用の促進、高齢者・多文化サービスの充実、読書バリアフリーの推進などの視点を加えたものになっている。

②の一人ひとりの子どもに寄りそうサービスについては、主に前計画にある子どもの読書活動推進計画の内容が盛り込まれているところになる。

こちらは5つの施策が連なっており、施策2-4の子どもに関わる施設・教育機関・団体・個人への協力・支援・連携と2-5の多摩市立小中学校への協力・支援・連携については、様々な議論を経て、別々の施策としたほうがいいのではないかとのご意見をいただきこの形としている。

③の市民のしらべをを支え、役立つ図書館については、新たに施策3-1で電子資料を含めた蔵書の充実と活用促進、施策3-3の地域資料等の活用による課題解決支援や地域文化の継承、施策3-6の各図書館の地域性を生かしたサービスの提供を盛り込んだところである。

④の持続可能な図書館の管理・運営体制の充実と強化については、施策4-1で各館の機能強化・運営体制の整備、施策4-3でボランティア活動の促進、施策4-4で職員の専門性向上と関係機関との情報共有の促進、施策4-5の市民ニーズの把握・反映となっている。

資料5については、（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画の素案構成案となる。目次のようなものである。

第1章においては、計画の目的・これまでの経緯・計画の位

置づけと期間をおおまかな計画の概要としている。

第2章においては、多摩市立図書館の現状と課題とし、2-1で図書館を取り巻く状況として、社会環境の変化や近年の動向を記載する。

2-2では、これまでの多摩市の読書活動に関する取り組みと成果を記載する。

2-3では多摩市立図書館の現状として、各図書館のあゆみ・各施設の概要・各図書館周辺の特徴や活動や担い手の状況を記載する。

2-4では、多摩市立図書館の課題を記載の通り、10個挙げており、各々について検証することとしている。

第3章においては、基本理念と基本方針となっており、先ほど説明したものを記載する予定としている。

第4章においては、計画の具体的な取り組みを記載していく予定である。

第5章においては、推進体制と評価について記載していく予定である。

会長 ここままで、質問、意見等ありましたら発言をお願いします。

委員 資料2の外国人対象のアンケートについて、初めての取り組みとして、とてもよいと思う。日本語4級・5級レベルはアンケート内容自体の意味が分からないと思う。国際交流センターで日本語を学ぶ生徒は、157人弱おり、40人が提出しているから、1/4くらいになる。

日本語による分かりやすい図書館利用の掲示があると、より利用しやすくなると思う。これからも多摩市の図書館に充実に役立てていけたらいいと考える。

副会長 このアンケートは、日本語によるアンケートなのか。

図書館長 日本語によるアンケートである。

副会長 アンケートを母国語に直して、実施してもよかったのではありませんか。質問事項の内容は、長いのか。

企画運営担当1主査 質問事項は、お示しした通りのもので、図書館から質問項目だけを伝え、方法については国際交流センターに任せていた。

副会長 各々の言語に変換し、アンケートをとったらもっと面白かったし、精度も上がったのではないかと提案する。

会長 アンケートの依頼方法は、どのようにしたのか。

企画運営担当 アンケート実施について相談したところ、国際交流センター

- 当1 主査 　に賛同頂き、図書館側から質問項目を担当者にメールでお示しし、アンケートを実施していただいた。具体的なアンケート方法は分からない。
- 委員 　　おそらくアンケートは、国際交流センター内の学習時間に実施し、各クラスでやり方についてはばらつきがあったのではないかと思う。
- 別件ですが、稲城市において稲城市在住の外国人向けに図書館を知る催しが開催されていたので紹介させていただく。
- 外国人対象に図書館を知るイベントがタイムリーに実施されていたので、こういった催しも今後検討されるとより図書館利用の促進が図れると思う。
- 会長 　　結果について、ある程度の傾向は出るが、外国人の全ての意見ではない。
- おおまかには分かるが母数が少ないので、外国人向けのアンケートはなかなか難しい。アンケート内容の意味が分からないと有効なものが得られないこともある。
- 委員 　　昨年度から多摩市は、多文化共生に力を入れているところなので、ぜひ引き続き前進していただければと思う。
- 会長 　　続いて、事務局より資料6から説明をお願いします。
- 図書館長 　資料6－1 第1章 計画概要については、計画の目的やこれまでの経緯を記載してある。図のとおり「多摩市読書活動振興計画」と「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」を一体化して新しい計画を策定していくことが示されている。2つの計画を統合し、新たな多文化サービスや読書バリアフリー、高齢者サービスへの対応、若者利用の促進なども盛り込んでいくこととしている。
- 裏面については、計画の位置づけと計画期間になる。左側が多摩市の計画を記載しており、次期計画に関連する各計画を記載するとともに右側には、根拠法や国や都の計画等を記載する。
- 計画期間は、令和7年9月に決定し、10月から令和12年3月までの5か年計画とする。
- 資料6－2 第2章 多摩市立図書館の現状と課題については、2－1では、図書館を取り巻く状況として社会環境の変化を記載する予定としている。昨今の本離れや少子高齢化社会の加速、GIGAスクール構想、高度情報化・デジタル技術の進展などについても文章化して盛り込んでいく。また、読書や図書館に関する国や都の近年の動向について様々な法制度とともに

に多摩市と図書館に関する動向を関連する6つの計画を記載する。

2-2では、これまでの多摩市の読書活動に関する取り組みと成果を記載する。「多摩市読書活動振興計画」と「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」のそれぞれの取り組みと成果、評価指標に対する結果なども記載しています。

2-3では、多摩市立図書館の現状として昭和48年に開館してから今までのあゆみと各施設の概要を記載する。

図書館の役割として、中央図書館の管理運営方針にもあるように、中央図書館はサービスの提供をするとともに分館を支援する仕組みにすることとしている。中央図書館と駅前拠点図書館、地域図書館の役割や特徴を記載し、各図書館の蔵書や利用状況をデータでお示ししている。

2-4では、今までの現状を踏まえた上で、多摩市立図書館の課題を10項目挙げているところである。

資料6-3 第3章 基本理念と基本方針については、こちらは資料4で説明したものと同様になる。

基本理念の次に基本方針があり、その下に施策が連なっているものである。

資料6-4-1 第4章 計画の内容については、具体的な取り組みの記載となる。各基本方針に連なる施策があり、それぞれ左側に取り組み事項、右側に概要と具体的な取り組み例を記載しているので、ご意見をいただきたい。また、ページ34にあるように基本目標ごとに評価指標を記載することで誰が見ても数字で計画の推進状況を把握できるように設定している。評価指標は、現行計画で指標に掲げているもののなかで、次期計画においても利用できそうなものを選んでいく。

副会長
図書館長

この内容は、完成ではないということによいのか。

その通りである。まだ、完成しているものではない。

資料6-4-2 A3の資料は、図書館だけではなく読書活動の取り組みをしている市内の状況についても記載をしようというものである。子どもや障がい福祉の分野などでの読書活動の取り組みも記載していく予定である。

資料6-5 第5章 計画の推進体制については、図にあるようにPDCAサイクルに即し、年度で達成状況を評価し、多摩市図書館協議会に報告していくものになる。裏面にあるように各ステップを踏みながら図書館協議会から評価を受け、今後

に向けて改善していくものとする。

会長

来週、第4回目の有識者会議が実施されるので、第4章については、ぜひ図書館協議会においてご意見あればいただきたい。こちらでの意見を有識者会議においてお伝えしたいと考えている。

第2章で課題を掲げ、第4章で計画を記載する構成になっているが、この2つが相関関係であることを明らかにすると分かりやすいのではないか。第4章にある計画は、第2章から導きだされたものであることが明確になるような表記があってもよい。

協議会から意見・要望等を聞く機会は、最後となると思われるのでご意見をいただきたい。

副会長

学校図書館が能動的に読書活動をする内容は計画のどこに入っているのか。学校図書館についての表記がなくなってしまうのはよくない。何か特別な思いがあるのか、教えて欲しい。

図書館長

学校図書館の関係になると基本方針2の2-5になる。

副会長

これは、市立図書館から学校図書館への協力・支援・連携の投げかけであって、資料6-2 第2章の基本目標2のなかに「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」にある7・11のように学校図書館がおこなっていく取り組み事項が欠けてしまっている。

図書館長

体系のなかでは、2-5になるが、もう少し取り組み事項のなかで具体的に学校図書館のことを入れていく必要があると考える。

副会長

子どもたちにとっては、市立図書館だけでなく、学校図書館の存在意義も重要だと考えるので計画のなかからなくなってしまうのは、本末転倒である。

会長

以前の会議より、懸念している部分なので、見落としがないように丁寧に対応していただきたい。

委員

多摩市立小中学校への協力・支援・連携とあるが、多摩市立小中学校と図書館の協働という側面が欠けているということか。

副会長

学校図書館の活動自体の記載がなくなっているということである。学校図書館司書等が主体的に読書活動をする内容がないということになる。

会長

図書館側から学校図書館への働きかけはあるが、学校図書館自体が能動的に活動する文言がないということになる。

- 会長 第1章にあるこれまでの経緯について、2つの計画を統合すると記載しているが、なぜ統合するのか。理由をもっと書き込んでもいいのではないかと。一体的にすることで、どこを目指していくのかを説明したほうが丁寧かと思う。例えば、計画を統合し、一体的に推進することにより従来の施策を相互に補完し、より実効性のあるものとしていくことを目指しますといった形はどうか。
- どの自治体も計画を統合しているなかで、統合の方向性は間違っていないが、目指しているものを入れて欲しい。
- 図書館長 文言について、検討していく。
- 副会長 さらに多摩市の場合の特徴を明記してもいいのではないかと。どの自治体もやっているからではなく、多摩市ならではの特徴も入れて欲しい。
- 会長 現行の計画では、各施策に対して現状の記載もあったが、取り組み事項、取り組み例を記載する表の構成になっているのには、意図があるのか。
- 図書館長 現行の計画においては、3段階の構成になっており、取り組み内容が分かりづらかったので、変更して何をやり、どんな例があるのか明記した。
- 第2章で現状と課題を記載しているので、第4章で同じような内容を記載することは重複し、分量の問題もあるのと、メインとなる施策になかなかとり着かないので、具体的施策が一目で分かるような構成にした。
- 副会長 どの施策がどこの課題に対するものなのかが分かるように施策にページを記載してみてもどうか。例えば、27ページにある基本方針1 だれもが使える図書館にある施策に対しては、第2章の2-4の(1)(2)の課題をクリアするためのものであることが読み取れるので、対応した施策であることを明確に表記しておけばいいのではないかと。
- 会長 相関関係を明らかにしたほうが読み手は分かりやすいのではないかと。
- 副会長 リンクするのに時間がかかるので、分かりやすいように記載したらいいのではないかと。
- 図書館長 参考に検討する。
- 委員 第4章51ページにある、東寺方図書館、唐木田図書館の運営体制の検討時期の決定という取り組みについてだが、時期を決定するだけなのか

- 図書館長 表記の誤りになる。運営体制の方向性についても検証し、決定する時期を明記する。
- 委員 第4章について、非常に読みやすい内容になっている。課題と施策がリンクしたほうが良いという会長・副会長の意見に同感である。
資料6-4-2にある各課の取り組み内容を記載する表についても、今までにないものでとても良い。
- 会長 内容も平準化しており、とても良くできている。
障がいの記載について、書き分けがあるのか。
ばらつきがあるので確認して欲しい
- 企画運営担当1主査 人がつくどひらがなでの表記とするというルールがあるので再度確認する。
- 委員 第2章の21ページに多少の記載はあるが、不読率にあまり触れられていないように思うが、何か意図はあるのか。
- 図書館長 学年が上がるにつれて読書離れがあることについては、アンケートにおいて、記載させていただいている。
- 委員 では、計画にも上記の課題を元に盛り込まれるということか。
- 会長 報告1から3について 事務局より説明をお願いします。
- 図書館長 資料は、ございません。
令和6年度に市民の方々から自発的にイベントの企画を募り、決定し、一周年にあわせて一緒に取り組んできた。9月に一度振り返り会議をしたところだが、12月までイベントも続いていたので反省会も含め、2回目の振り返りの会議を市民の方も交えて、2月24日に開催するものである。
報告2 ほんともフェスタについて、チラシを机上に置かせていただいた。こちらについては、2月20日を目途に学校に配布予定としている。スタンプラリーについては、小学校に配布する予定。開催は、3月1日から4月2日までとなる。
内容としては、「ほんはともだち」の展示、スペシャルおはなし会とイベント、講座の実施がある。
ほんともスタンプラリーについては、3月1日から31日を開催期間とし、各図書館・グリナード永山にて台紙を配布していて、7館全部クリアをすると、しおりがもらえるようになっている。次ページでは、各図書館のおはなし会の詳細を記載している。展示については、各小・中学校にも協力をいただきながら中央図書館・グリナード永山で実施する。3月9日の講座については、募集をすでに実施しており、定員に達している状

況である。

企画運営担当1 主査 報告3 本のまちプロジェクトについては、今年度の事業で既におこなっており、来週書店の方を交えて振り返りの会議をする予定としている。3月に向けては、各書店と統一テーマで展示をやることで計画している。新生活・出会いがテーマとなっている。また、各書店と図書館をめぐるクイズラリーが出来ないか検討しているところである。おそらく時期は3月下旬になる見込みになる。また、来年度に向けても引き続き繋がりを持っていく方向である。

会長 報告1から3について 質問、意見等があれば発言をお願いします。

委員 スタンプラリーについてだが、大人なら回れるかと思うが子どもには距離的に無理を感じる。全館回らなくても、しおりを貰える方法があるといいなと考える。

図書館長 今年度については、この形で実施させていただくが、今後検討させていただく。

会長 その他ご意見がないようなので、本日の令和6年度第5回定例会は終了する。